

2020 年の日本沿岸の平均海面水位が高かった要因

2020 年の日本沿岸の平均海面水位を海域別に見ると、関東から東海地方の沿岸で特に高くなっており、日本沿岸の高い海面水位の主な要因となりました。

黒潮は 2017 年 8 月から大蛇行しており（図 1）、2020 年は関東から東海地方の沿岸に黒潮が接近して流れることが多くありました（図 2）。一般に、暖かい海水は相対的に体積が大きいため、海面が周囲より盛り上がっています。暖かい海水の流れである黒潮が接近すると、海面の高い領域が沿岸に接近することになり、沿岸の海面水位が高くなります。この影響で、2020 年は、関東から東海地方の沿岸を中心に海面水位が高くなっていました。

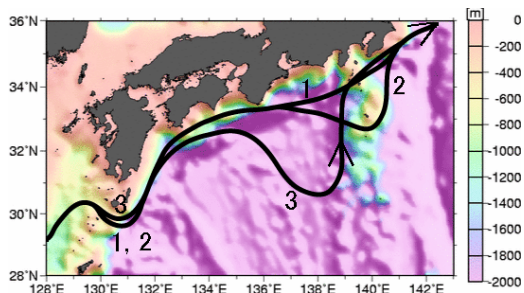


図 1 黒潮の典型的な流路

- 1 : 非大蛇行接岸流路
- 2 : 非大蛇行離岸流路
- 3 : 大蛇行流路

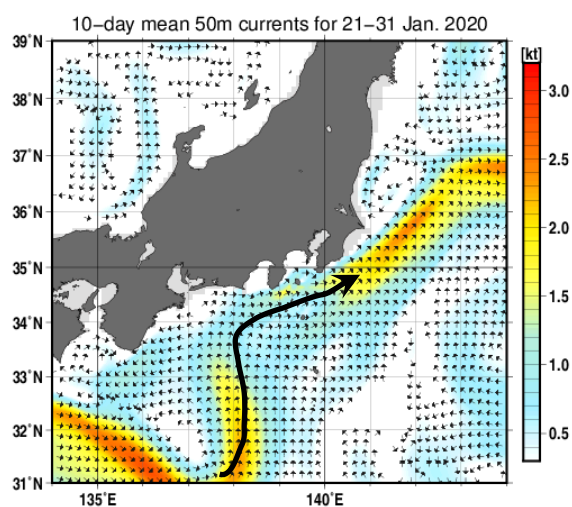


図 2 深さ 50m の旬平均海流図

(2020 年 1 月下旬)

流れの方向は矢印。海流の速さ（単位：ノット、1 ノット=約 0.5m/s）は、図の右にあるスケールで色分けされています。黒い実線が東海沖での黒潮の流軸を示しています。